

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

第1720回

■ 最終夜間例会 ■



2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド



シャクナゲ

写真提供：山田昭雄君

■ 会長報告

村松 英昭君

本日は最終夜間例会です。会員の皆様、ご夫人の方々、多数ご出席下さりありがとうございます。

この一年、何とか会長の責務を果たす事ができました。これも、ひとえに、会員の皆様のご協力のたまものです。また、後藤幹事をはじめとする役員の方々にはたいへんお世話になりました。この場をおかりして、御礼申し上げます。

私たちロータリアンが、ロータリー活動を行っていく上において、ご家族のご理解、特に、ご夫人の深いご理解、ご協力あってのことです。常日頃のご理解に深く感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

話は、変わりますが、先週の金曜日（6月22日）夜9時よりテレビ静岡で「潮風の診療所―岬のドクター奮戦記」というドラマが放映されました。この物語は、僻地医療に47年間の人生を捧げた医師の実話です。北海道浜中町霧多布における話で、札幌育ちの若夫婦が僻地に赴任し毎年任期がくるたびに、札幌に帰ろう、帰ろうと決意するのだが、地域住民のたつての希望と地域住民との繋がりを断ち切れず、ついに霧多布の地に骨を埋める覚悟をするという物語でした。たいへん感動いたしました。

この医師の名は、道下俊一さんといいます。ロータリアンです。ロータリーの友、平成18年12月号のシリーズ風紋のコーナーに掲載された方です。「ロータリーが支えた僻地医療の47年」という題の記事でした。この記事の中で、ロータリ

ーは倫理運動です。地域の中でそれぞれの職業から一人ずつ選ばれた人たちが切磋琢磨し、自分の職業を通じて地域に良い影響をおよぼす理念があった、ゆえに、ロータリアンになることは、ステータスであった。会員減少は、不景気のせいばかりではありません。原点に立ち返りステータスをもう一度取り戻す事です。と述べられていました。会員の皆様、原点に立ち返りましょう。

■ 幹事報告

後藤 功君

- 国際ロータリー2007年規定審議会の決定報告書がRIより届いております。

◎ベネファクター表彰

杉山 静一君



■ 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27/38 71.05%	38/38 100%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

- 春原君 ○北村君 ○浅川君 ○岩田君
○鈴木舜君 ○仲田晃君 ○宮崎君 ○望月志君
○望月俊君 ○石垣君 ○成瀬君

(2)メイクアップ者

春原 良則君（藤枝南） 北村 幸男君（藤枝南）
 松葉 義之君（藤枝南）

■■■ 最終夜間例会 ■■■

■ ビジター

大石 啄誌君（榛南） 原 晴男君（島田）
 伊藤 一成君（島田） 小原 昇君（焼津）
 菅野 浩吉君（藤枝南） 渡辺 哲朗君（藤枝南）





(担当／櫻井)